

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

什器備品…定額法

(2) 引当金の計上基準

退職給付引当金…期末退職給付の要支給額に相当する金額から、中小企業退職金共済給付金を控除した金額を計上している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税込方式によっている。

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
公募展資金準備資産	0	8,000,000	0	8,000,000
合 計	0	8,000,000	0	8,000,000

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
特定資産				
公募展資金準備資産	8,000,000	0	(8,000,000)	0
合計	8,000,000	0	(8,000,000)	0

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取 得 価 額	減価償却累計額	当 期 末 残 高
什 器 備 品	2,062,450	2,062,444	6
合 計	2,062,450	2,062,444	6